

令和4年度 青梅市立河辺小学校 学校評価アンケート 結果

※評価について A:よくできた B:まあまあできた C:あまりできなかった D:できなかった

項目	経営目標	本年度の重点	具体的な方策	評価	保護者 (%)	児童 (%)	教員 (%)	分析	学校関係者評価		学校の見解と今後の方向性							
									評価	主なコメント								
学力の向上と主体的な学びの推進	各教科の「見方・考え方」にふれる「楽しい授業」の追求	学習環境の整備・活用 基礎的・基本的な学力の定着 学習環境の整備・活用（一人1端末を中心としたICT機器「1日1活動」の実施、人的環境整備活用、校内整備、図書重点校の取組）	「学ぶ楽しさ」を味わわせる授業の実現（河辺小授業スタイルの共通実践、質の高い授業の共通理解、校内研究の活性化）	A	42.9%	45.0%	23.8%	「授業の充実」は学校にとって最も重視しなければならない項目です。いずれも90%程度の肯定的評価となり、安堵しております。さらなる充実を目指し、校内研究等、教員の授業力向上のための取組を今後も充実させ、不断の授業改善に努めてまいります。	A	1年生が授業を楽しんでいると感じており、高学年になっても生徒、保護者ともに学ぶ楽しさがあると回答されている。先生方の努力が感じられる。 ・児童回答から、3、4年生から学ぶ楽しさが若干低下すると感じた。C.D回答児童へのフォローもお願いしたい。 ・結果は高水準である。是非続けて欲しい。	・校内研究の充実および教員相互授業観察の実施等を通し、不断の授業改善に努める。							
			基礎的・基本的な学力の定着（「はい・立つ・です」等授業規律の共通実践、河辺ドリル・ステップアップ等の取組、家庭学習の習慣化の方策）	A	48.8%	38.5%	19.0%					学習入門期である小学校では、学習規律を整え、基礎的な学力を定着させることは大切です。児童の自己評価が少し厳しめですが、「さらに改善できることがある」と感じていることだと思います。今後のさらなる充実を目指します。	A	・河辺ドリルの継続など、毎日の取り組みが素晴らしいと感じる。 ・地道な作業だが、きめの細かい指導を期待している。 ・結果は、高水準だと思う。家庭との学習規律の共有も大切だと思う。				
			学習環境の整備・活用（一人1端末を中心としたICT機器「1日1活動」の実施、人的環境整備活用、校内整備、図書重点校の取組）	A	44.0%	58.4%	40.9%								一人一端末、電子黒板などのICT環境が改善され、それらを活用した授業が飛躍的に多くなった今年度でした。校舎内外の整備、学習支援員など人的環境の整備も含め、さらに学習環境を活かした教育活動を進められるよう努めてまいります。	A	・コロナ禍で、状況が刻々とかわる中、ICTなど、新しい取組をを軌道に乗せるのが大変だったと思う。素晴らしい結果と思う。	
			教師と児童の信頼関係の構築（児童理解一人1取組、道徳授業の充実、教師の「率先垂範」や適切な言動、適時的な指導）	A	53.4%	49.6%	50.0%											児童への質問を、昨年度の「先生は自分をわかってくれている」から「先生に話したり相談したりしやすい」に変更したところ、15%程度が否定的回答となりました。これを真摯に受け止め、さらに関係が深められる取組や姿勢に努めていきます。
			人権教育推進・規範意識育成（「ハートフル河辺小プラン」の推進、生活指導の充実、いじめの未然防止・早期発見・早期対応、「河辺しぐさ」の指導）	A	48.6%	42.6%	33.3%	自他尊重の精神や規範意識は、社会を生きていく上で根幹となります。いずれも90%を超える肯定的評価となり、安堵しております。全ての児童に、人権感覚や規範意識が定着させられるよう、今後も指導の充実を図ります。	A	・公開授業などで積極的に「道徳」をとりあげるなど、学校として人権教育に力を入れていることを感じる。 ・いじめのない学校生活を期待する。								
			主体性の伸長（特別活動の充実、学校行事の充実）※特別活動（クラブ活動、委員会活動、学級活動、縦割り班活動等）	A	44.4%	60.8%	33.3%					特別活動（学級活動、クラブ・委員会活動、縦割り活動等）や学校行事の各場面で、児童の主体性を伸ばす活動を取り入れていることを、見取り、ご消化いただき有難く思います。さらなる充実を目指してまいります。	A	・「自ら考え、行動する力」は、これからますます重要になると言われている。学校が取りくみ、保護者に発信することで、保護者の意識も向上すると思う。 ・積極的な取組を期待する。				
			体育・健康に関する指導の充実（体育指導や体育的活動の充実、オリパラスポーツ教室の実施）※体育的活動＝縄跳び、マラソン大会等	A	55.2%	55.6%	38.9%								児童への質問を、自らの取組の様子への評価としたところ、15%近くの否定的評価となりました。健康面からも、児童期に運動に親しむ態度を身に付けさせることは大切です。指導や取組の内容や方法を検討し、さらに充実できるよう努めていきます。	A	・プロなわとびプレイヤーやオリンピック選手等から、指導を受ける機会を作られ、素晴らしいと思う。 ・卒園児や保護者から、マラソン大会や縄跳びで頑張っている話を聞くことがある。 ・マラソン大会はもう無くしても良いかと思う。 ・頑張る力を育てて欲しい。 ・スポーツの素晴らしさ、体を動かす気持ち良さや楽しさの実感に向けて、引き続き取組をお願いしたい。	
			青梅学の推進（地域の自然や環境、歴史や文化財等の教材化、御岳移動教室等、愛鳥モデル校、動物飼育推進校の取組）	A	55.0%	62.3%	16.7%											保護者の皆様、児童からの高い肯定的評価と比べ、教員の数値が低いのは、「青梅学」を推進するにあたり、地域の「教材化」に苦労している面もあります。地域人材や環境の教材化に向け、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。
			個に応じた指導の充実（「ことばときこえの教室」と通常学級の連携、特別支援委員会を核とした組織的な対応）	A	50.8%		50.0%	「ことばときこえの教室」の設置校であることは、本校最大の特色です。「ことばときこえの教室」の教員が通常学級担当教員と力を合わせ、教育活動を進めていることに高い肯定的評価をいただき、大変ありがとうございます。	A	・ことばときこえの教室が河辺小にあることで、保護者が相談しやすく助かっているようだ。 ・大切なことである。しっかりやって欲しい。 ・大変さや課題も多くあるかと思うが、宜しくお願したい。								
			学校からの情報発信（家庭や保護者への適時的かつ適切な情報発信）※学校便り、学年だより、ホームページ、配布プリント、メール配信	A	58.6%		40.0%					高い肯定的評価をいただき、ありがとうございます。主にメール・プリント等で適時的で丁寧な情報発信を心掛けております。今後、さらなるツールの活用や、効果的な方法を検討してまいります。	A	・学校便りなど、メール配信で送ることも検討しても良いのではないかと。 ・学校運営連絡協議会委員にも、天候による行事の変更などもメールで連絡もらえると助かる。 ・きめの細かい対応を期待している。 ・内容は十分である。				
			丁寧かつ組織的対応の徹底（保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応）	A	52.6%		60.0%								今年度の最重点の課題の一つであり、保護者の皆様から、大変高い肯定的評価をいただいたことは、とても有難く思います。今後も、学校が組織として力を集め、ご家庭と連携しながら、対応していけるよう努めてまいります。	A	・校長を中心として、組織で迅速に対応していることを感じる。 ・大事な取り組みである。大変心労が掛かる取組ですが、今後も充実させてほしい。	
			教育活動を通じた連携強化（学校行事の充実、学校公開や保護者会の工夫、学校評価・アンケートとの活用、地域行事等への参加）	A	60.9%		38.1%											小学校段階の子供たちにとって、大きな学校行事や学校公開などで自身の頑張っていることを、保護者の皆様から称賛されたり、認めていただいたりすることは向上心や自己肯定感の伸長に大きな効果があります。より学校とご家庭が連携して児童の成長を促せるよう、教育活動を検討し、進めてまいります。
	B	36.0%		47.6%														
	C	2.4%		14.3%														
	D	0.8%		0.0%														
豊かな心の育成	「自他尊重の精神」の涵養	自他尊重の精神の涵養	教師と児童の信頼関係の構築（児童理解一人1取組、道徳授業の充実、教師の「率先垂範」や適切な言動、適時的な指導）	A	53.4%	49.6%	50.0%	児童への質問を、昨年度の「先生は自分をわかってくれている」から「先生に話したり相談したりしやすい」に変更したところ、15%程度が否定的回答となりました。これを真摯に受け止め、さらに関係が深められる取組や姿勢に努めていきます。	A	・児童の「先生に話しかけたり相談しやすい」が高評価となっており、先生方の努力を感じる。とても大事な取り組みだと思う。 ・C、Dと回答した児童の原因が気になる。 ・コロナ禍でこの結果は素晴らしいと思う。道徳授業は、とても重要だと感じる。	・不断の見直しと実践が必要な項目である。今後も研修、実践、振り返りを繰り返しながら、よりよい取組に繋げていく。							
			人権教育推進・規範意識育成（「ハートフル河辺小プラン」の推進、生活指導の充実、いじめの未然防止・早期発見・早期対応、「河辺しぐさ」の指導）	A	48.6%	42.6%	33.3%					自他尊重の精神や規範意識は、社会を生きていく上で根幹となります。いずれも90%を超える肯定的評価となり、安堵しております。全ての児童に、人権感覚や規範意識が定着させられるよう、今後も指導の充実を図ります。	A	・公開授業などで積極的に「道徳」をとりあげるなど、学校として人権教育に力を入れていることを感じる。 ・いじめのない学校生活を期待する。				
			主体性の伸長（特別活動の充実、学校行事の充実）※特別活動（クラブ活動、委員会活動、学級活動、縦割り班活動等）	A	44.4%	60.8%	33.3%								特別活動（学級活動、クラブ・委員会活動、縦割り活動等）や学校行事の各場面で、児童の主体性を伸ばす活動を取り入れていることを、見取り、ご消化いただき有難く思います。さらなる充実を目指してまいります。	A	・「自ら考え、行動する力」は、これからますます重要になると言われている。学校が取りくみ、保護者に発信することで、保護者の意識も向上すると思う。 ・積極的な取組を期待する。	
			体育・健康に関する指導の充実（体育指導や体育的活動の充実、オリパラスポーツ教室の実施）※体育的活動＝縄跳び、マラソン大会等	A	55.2%	55.6%	38.9%											児童への質問を、自らの取組の様子への評価としたところ、15%近くの否定的評価となりました。健康面からも、児童期に運動に親しむ態度を身に付けさせることは大切です。指導や取組の内容や方法を検討し、さらに充実できるよう努めていきます。
			青梅学の推進（地域の自然や環境、歴史や文化財等の教材化、御岳移動教室等、愛鳥モデル校、動物飼育推進校の取組）	A	55.0%	62.3%	16.7%	保護者の皆様、児童からの高い肯定的評価と比べ、教員の数値が低いのは、「青梅学」を推進するにあたり、地域の「教材化」に苦労している面もあります。地域人材や環境の教材化に向け、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。	A	・御岳移動教室は、御岳神社や地域の暮らしなど学ぶことも多く、子どもたちの地域愛につながったと思う。 ・愛鳥モデル校、動物飼育推進校など、勉強以外で輝く子どもも多く、子どもたちの記憶に永くとどまると思う。 ・お囃子等も体験出来ると良いかと思う。 ・愛鳥博士は度、河辺小の素晴らしい取組であり誇れる取組だと思う。長く取組をお願いしたい。 ・住んでいる地域を知る取組も素晴らしいと思う。								
			個に応じた指導の充実（「ことばときこえの教室」と通常学級の連携、特別支援委員会を核とした組織的な対応）	A	50.8%		50.0%					「ことばときこえの教室」の設置校であることは、本校最大の特色です。「ことばときこえの教室」の教員が通常学級担当教員と力を合わせ、教育活動を進めていることに高い肯定的評価をいただき、大変ありがとうございます。	A	・ことばときこえの教室が河辺小にあることで、保護者が相談しやすく助かっているようだ。 ・大切なことである。しっかりやって欲しい。 ・大変さや課題も多くあるかと思うが、宜しくお願したい。				
			学校からの情報発信（家庭や保護者への適時的かつ適切な情報発信）※学校便り、学年だより、ホームページ、配布プリント、メール配信	A	58.6%		40.0%								高い肯定的評価をいただき、ありがとうございます。主にメール・プリント等で適時的で丁寧な情報発信を心掛けております。今後、さらなるツールの活用や、効果的な方法を検討してまいります。	A	・学校便りなど、メール配信で送ることも検討しても良いのではないかと。 ・学校運営連絡協議会委員にも、天候による行事の変更などもメールで連絡もらえると助かる。 ・きめの細かい対応を期待している。 ・内容は十分である。	
			丁寧かつ組織的対応の徹底（保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応）	A	52.6%		60.0%											今年度の最重点の課題の一つであり、保護者の皆様から、大変高い肯定的評価をいただいたことは、とても有難く思います。今後も、学校が組織として力を集め、ご家庭と連携しながら、対応していけるよう努めてまいります。
			教育活動を通じた連携強化（学校行事の充実、学校公開や保護者会の工夫、学校評価・アンケートとの活用、地域行事等への参加）	A	60.9%		38.1%	小学校段階の子供たちにとって、大きな学校行事や学校公開などで自身の頑張っていることを、保護者の皆様から称賛されたり、認めていただいたりすることは向上心や自己肯定感の伸長に大きな効果があります。より学校とご家庭が連携して児童の成長を促せるよう、教育活動を検討し、進めてまいります。	A	・ほぼコロナ禍前と同様に、子どもたちのための行事も、学校公開なども開催されており、工夫とご努力を感じる。 ・良い方向に行くようお願いしたい。 ・地域とのより良い連携を図りつつ、児童の見守り活動を推進して行きたい。								
				B	36.0%		47.6%											
				C	2.4%		14.3%											
				D	0.8%		0.0%											
特色ある教育活動の充実	持続可能な取組への深化	特別支援（個に応じた指導）の充実	体育・健康に関する指導の充実（体育指導や体育的活動の充実、オリパラスポーツ教室の実施）※体育的活動＝縄跳び、マラソン大会等	A	55.2%	55.6%	38.9%	児童への質問を、自らの取組の様子への評価としたところ、15%近くの否定的評価となりました。健康面からも、児童期に運動に親しむ態度を身に付けさせることは大切です。指導や取組の内容や方法を検討し、さらに充実できるよう努めていきます。	A	・プロなわとびプレイヤーやオリンピック選手等から、指導を受ける機会を作られ、素晴らしいと思う。 ・卒園児や保護者から、マラソン大会や縄跳びで頑張っている話を聞くことがある。 ・マラソン大会はもう無くしても良いかと思う。 ・頑張る力を育てて欲しい。 ・スポーツの素晴らしさ、体を動かす気持ち良さや楽しさの実感に向けて、引き続き取組をお願いしたい。	・東京2020レガシーの活動を「体育・健康に関する指導の充実」として位置づけ、今後も継続実施していく。							
			青梅学の推進（地域の自然や環境、歴史や文化財等の教材化、御岳移動教室等、愛鳥モデル校、動物飼育推進校の取組）	A	55.0%	62.3%	16.7%					保護者の皆様、児童からの高い肯定的評価と比べ、教員の数値が低いのは、「青梅学」を推進するにあたり、地域の「教材化」に苦労している面もあります。地域人材や環境の教材化に向け、今後ともご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。	A	・御岳移動教室は、御岳神社や地域の暮らしなど学ぶことも多く、子どもたちの地域愛につながったと思う。 ・愛鳥モデル校、動物飼育推進校など、勉強以外で輝く子どもも多く、子どもたちの記憶に永くとどまると思う。 ・お囃子等も体験出来ると良いかと思う。 ・愛鳥博士は度、河辺小の素晴らしい取組であり誇れる取組だと思う。長く取組をお願いしたい。 ・住んでいる地域を知る取組も素晴らしいと思う。				
			個に応じた指導の充実（「ことばときこえの教室」と通常学級の連携、特別支援委員会を核とした組織的な対応）	A	50.8%		50.0%								「ことばときこえの教室」の設置校であることは、本校最大の特色です。「ことばときこえの教室」の教員が通常学級担当教員と力を合わせ、教育活動を進めていることに高い肯定的評価をいただき、大変ありがとうございます。	A	・ことばときこえの教室が河辺小にあることで、保護者が相談しやすく助かっているようだ。 ・大切なことである。しっかりやって欲しい。 ・大変さや課題も多くあるかと思うが、宜しくお願したい。	
			学校からの情報発信（家庭や保護者への適時的かつ適切な情報発信）※学校便り、学年だより、ホームページ、配布プリント、メール配信	A	58.6%		40.0%											高い肯定的評価をいただき、ありがとうございます。主にメール・プリント等で適時的で丁寧な情報発信を心掛けております。今後、さらなるツールの活用や、効果的な方法を検討してまいります。
			丁寧かつ組織的対応の徹底（保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応）	A	52.6%		60.0%	今年度の最重点の課題の一つであり、保護者の皆様から、大変高い肯定的評価をいただいたことは、とても有難く思います。今後も、学校が組織として力を集め、ご家庭と連携しながら、対応していけるよう努めてまいります。	A	・校長を中心として、組織で迅速に対応していることを感じる。 ・大事な取り組みである。大変心労が掛かる取組ですが、今後も充実させてほしい。								
			教育活動を通じた連携強化（学校行事の充実、学校公開や保護者会の工夫、学校評価・アンケートとの活用、地域行事等への参加）	A	60.9%		38.1%					小学校段階の子供たちにとって、大きな学校行事や学校公開などで自身の頑張っていることを、保護者の皆様から称賛されたり、認めていただいたりすることは向上心や自己肯定感の伸長に大きな効果があります。より学校とご家庭が連携して児童の成長を促せるよう、教育活動を検討し、進めてまいります。	A	・ほぼコロナ禍前と同様に、子どもたちのための行事も、学校公開なども開催されており、工夫とご努力を感じる。 ・良い方向に行くようお願いしたい。 ・地域とのより良い連携を図りつつ、児童の見守り活動を推進して行きたい。				
				B	36.0%		47.6%											
				C	2.4%		14.3%											
				D	0.8%		0.0%											
			家庭・地域との連携	家庭・地域との連携の構築	丁寧かつ組織的対応の徹底（保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応）	学校からの情報発信（家庭や保護者への適時的かつ適切な情報発信）※学校便り、学年だより、ホームページ、配布プリント、メール配信	A	58.6%		40.0%		高い肯定的評価をいただき、ありがとうございます。主にメール・プリント等で適時的で丁寧な情報発信を心掛けております。今後、さらなるツールの活用や、効果的な方法を検討してまいります。	A	・学校便りなど、メール配信で送ることも検討しても良いのではないかと。 ・学校運営連絡協議会委員にも、天候による行事の変更などもメールで連絡もらえると助かる。 ・きめの細かい対応を期待している。 ・内容は十分である。	・今後は、HP活用について、より効果的な方法を模索していく。			
						丁寧かつ組織的対応の徹底（保護者等からの相談等への迅速な対応、必要に応じ学年・生活指導部・特別支援委員会・管理職と組織的に対応）	A	52.6%		60.0%						今年度の最重点の課題の一つであり、保護者の皆様から、大変高い肯定的評価をいただいたことは、とても有難く思います。今後も、学校が組織として力を集め、ご家庭と連携しながら、対応していけるよう努めてまいります。	A	・校長を中心として、組織で迅速に対応していることを感じる。 ・大事な取り組みである。大変心労が掛かる取組ですが、今後も充実させてほしい。
						教育活動を通じた連携強化（学校行事の充実、学校公開や保護者会の工夫、学校評価・アンケートとの活用、地域行事等への参加）	A	60.9%		38.1%								
	B	36.0%					47.6%											
	C	2.4%					14.3%											
	D	0.8%					0.0%											